

# 復興への思い合唱でつなぐ

## 秋、いわき楽友会 いわきメンネルコール コンサートで22曲披露

「ともに歌おう、合唱」と題したコンサートが14日、大ホールでつなぐ復興への思い」日、いわき芸術文化交流館「アリオス」大ホールで開かれた。



いわきで歌声を響かせた「秋」のステージ

出演したのは、仙台市を拠点に活動する合唱団「秋」といわき市のいわき楽友会合唱団、いわきメンネルコールの3団体。「秋」は、2011年5月に『音楽の殿堂』といわれるニューヨークのカネギーホールでの日米合唱祭に出演するため、2010年6月に結成された混声合唱団。合唱祭を主催するニューヨーク在住の白田正樹さん(いわき市出身)と、中学・高校時代をいわきで過ごした作曲家で指揮者の岡崎光治さん(仙台市)

が東北大男声合唱団OBだったことから、同合唱団OBを中心に仙台、東京、いわきなどから有志が集まった。

しかし合唱祭直前の3月に大震災が発生。一時は参加を断念したが、

「歌うことは生きていることのおかげ」と決意も

新たに104人がステージに立った。日米合唱祭は震災支援のための日米合唱チャリティーコンサートと改称して開催。感動のうちに成功をおさめた。

当初は公演終了後に解散する予定だったが、被災地を激励しようと20

11年10月に行われた仙台での凱旋公演、その後東京公演に続いて、今回「合唱団『秋』といわきの仲間たちのコンサート」が実現した。

5つのステージでは、常磐炭砒で命を落とした男たちへの鎮魂歌「美しく、恵み溢(あふ)れる

いわき」や「じゃんがら祭り」といったいわきゆかりの歌、震災で亡くなった人たちにささげる「走る海」など22曲を披露。最後は3団体による合同合唱を行い、会場を埋めた聴衆から大きな拍手を送られていた。

### 31日までFUNAさんの新作展

#### アリオス・カフェ 独特の感性で表現した作品

いわき市在住のイラストレーターFUNAさんの新作展が31日まで、いわき芸術文化交流館「アリオス」2階のアリオス・カフェで開かれている。人間や動物、植物を独特の感性で表現した作品が、来店者を楽しませている。

FUNAさんの作品は、畳一枚もある大きな和紙からはがきサイズの和紙まで、さまざまな大きさのものがある。それに、コピーで地色をつけ、その上に独特の感性で動物や植物、人間、太陽、月などを描いている。今回は流木などを利用したオブジェ風の商品も展示されている。

アリオス・カフェでの市民は、久しぶりの司吉の営業時間ま千前

### 26日に防災エネ教育成果発表会

育実践を展開してきた。発表会・シンポジウム

1について意見を交換しようとする。

アリオス・カフェでの市民は、久しぶりの司吉の営業時間ま千前



独特のFUNA感性が漂う新作展